



# かけはし



宝塚歌劇100周年  
宝塚市制60周年  
手塚治虫記念館20周年

第220号 平成26年(2014年) 8月1日(金曜日) 編集発行 宝塚市議会

## 意見交換会を初開催!



### 6月定例会の主な審議

- 平成26年度宝塚市一般会計補正予算を可決
- 宝塚市子どもの権利サポート委員会条例を可決
- 宝塚市再生可能エネルギーの利用の推進に関する基本条例を可決





# 意見交換会

## を初開催！



7月13日(日)に宝塚市議会本会議場において、市民と市議会との第1回意見交換会を開催しました！

当日は、公募で参加いただいた4名の市民発言者から、テーマに沿って、さまざまな意見やご提案の発言がありました。

議員も市民発言者の皆さまのご意見に賛同したり、別の観点から意見を述べたり、議員それぞれの考え方で発言し、予定の時間はあっという間に過ぎました。意見交換の概要は下記のとおりです。

意見交換会終了後、市民発言者の方からは、このような機会はいい試みと思う、発言時間3分は短かった、議場の雰囲気味わえてよかった、若い世代も参加しやすいような工夫が欲しい、などのご感想をいただきました。

### 【市民発言者の皆さま】

※写真(上) 右から

中山正明さん(塔の町)

上林三郎さん(星の荘)

小宮弘信さん(中州)

石村侑二さん(美座)

- ・市民の夢を応援してほしい。
- ・防災アプリを用いた新技術の導入を検討してはどうか。
- ・市民の命と夢を守るまちが、本当の宝塚市が掲げる「夢を探しに宝塚」、「夢のまち宝塚」になるのではないかな。

発言者

- ・たくさんの市民の夢をどう叶えていくかが私たちの夢になってきている。
- ・防災アプリについて、まずは情報インフラの整備を進めることを求めている。
- ・子どもたちの夢を応援できるようなまちにしていきたい。
- ・防災アプリは、災害に特化するのではなく、観光案内やPRなどさまざまな情報を整理していければよいと思う。

議員

- ・ファミリーランドの復活を願っている。
- ・「音楽の宝塚」にふさわしい大ホールを建てて欲しい。

発言者

- ・今後、財政負担が増える中、公共施設を整理し、どう再配置していくか、新施設は建設可能か、どこに建てれば交通渋滞を起こさないか、市は宝塚全体のランドデザインを描き、取り組んでいくことが重要だと思う。
- ・宝塚ガーデンフィールズ跡地利活用では、緑をいかした子どもたちの学びの地や親子が遊べる憩いの場になってほしい。
- ・ファミリーランドがあったことを何らかの形で残したい。

議員

## テーマ 宝塚市議会と市議会議員に期待すること

- ・昨年の市役所放火事件は職員の対応のまずさが、市民を凶悪化させた。現在の市役所は本当にうまくやっているのか。

発言者

- ・一義的には犯人が悪いと思う。しかし、窓口対応については改善すべき課題はあると思っている。市民に寄り添うような窓口へ、改善を求めている。
- ・市職員は、丁寧に窓口対応を行っている。市役所放火事件は残念だった。市の対応については、一般質問や委員会審査などで、今後も追求していきたい。

議員

- ・宝塚ガーデンフィールズ跡地利活用に関するワークショップに参加したが、基本構想に意見は入れられなかった。協働とは信頼である。市の協働とは何か。
- ・市民と議員が協働で、議会的一般質問などができないか。

発言者

- ・協働では、それぞれの役割をはっきりさせることが大事。市民は要望を出すだけでなく、評価をしてほしい。
- ・議会との協働は課題。これまでほとんどできていない提案。一議員として受け止め、検討したい。
- ・基本構想策定時の市民参加によるワークショップについては、市からの趣旨説明が不十分だった。現在、基本設計についても市民参加を募っているので、積極的に参加してほしい。

議員

当日は、多くの皆さまに傍聴いただき、ありがとうございました。今後も皆さまのご意見を市議会の運営に反映させていきたいと考えており、このような意見交換の場を持ちたいと思っています。どうぞ、よろしくお願います。

- ・有意義な意見がきけた。面白かった。他の市民の考えや議員の考えが聞けてよかった。
- ・女性の立場からの発信もほしかった。
- ・発言時間が短かいと思う。本音をもっと聞きたい。
- ・意見交換会での意見をぜひ議会に反映してほしい。
- ・今後も続けてほしい。
- ・議会報告会でこのような場を設けてほしい。
- ・発言した議員以外の議員の意見も聞きたかった。
- ・市民発言者は公募せず、自由参加にしてほしい。
- ・市民発言者への応募が少なかったのは残念。
- ・傍聴席にも発言の機会があればよかった。

# 特集

# 委員会って、な・あ・に？

今回は、宝塚市議会に設置されているいろいろな委員会をご紹介します。

## 常任委員会をのぞいてみよう！

### ◆宝塚市議会の常任委員会

宝塚市議会には3つの常任委員会があり、本会議での議決に先立ち、付託された議案や請願等を専門的に審査します。常任委員会の構成は次のとおりです。(敬称略：◎=委員長、○=副委員長)

<p><b>総務常任委員会(9名)</b> ◎となき、○伊藤、江原、大川、草野、寺本、富川、浜崎、三宅の各委員 【所管】 総務、政策、財政、税、人事、組織など。他の委員会に属さない事項も扱う。</p>	<p><b>文教生活常任委員会(8名)</b> ◎村上、○藤岡、浅谷、大島、北野、佐藤、田中、山本の各委員 【所管】 福祉、保健、市民協働、教育、子ども政策、医療、病院など。</p>	<p><b>産業建設常任委員会(8名)</b> ◎井上、○中野、石倉、伊福、大河内、坂下、たぶち、藤本の各委員 【所管】 産業、防災、都市計画、道路、公園、消防、文化、環境衛生、農業、上下水道など。</p>
--	---	---

### ◆議案審査の流れを追ってみよう！



② 委員会での審査  
(1日目)  
付託を受けた議案について詳細な説明を受けた後、引き続き常任委員協議会を開催し、論点を整理します。(2日目)  
整理した論点に沿って議案の審査を行い、委員会としての賛否を決定します。



① 議案の付託  
市長から提案された議案や皆さまから提出された請願などは、本会議において、それぞれの常任委員会に審査を任せられます。これを、付託といいます。



③ 委員会審査報告  
本会議最終日に、委員長が委員会での審査内容を報告。その後、議会としての賛否をはかります。



## 他にはどんな委員会があるの？

(敬称略：◎=委員長、○=副委員長)

**特別委員会**  
議会が必要とする事件の審査のために設けられ、審査や調査が終われば消滅します。たとえば、市の予算や決算の審査は、それぞれ特別委員会を設けて審査します。  
※現在、特別委員会は設置されていません。

**議会運営委員会**  
議会の運営を円滑に行うため、議会運営や会議規則、委員会条例の改正、議長の諮問事項について協議し、審査します。  
現在の委員は、6名です。  
◎江原、○田中、浅谷、寺本、富川、村上の各委員

**広報広聴委員会**  
より多くの市民に、議会と市政に関心を持っていただけるよう、議会の広報広聴活動について協議、検討しています。この「議会報かけはし」も作成を担当しています。  
現在の委員は、6名です。  
◎となき、○富川、井上、大河内、佐藤、中野の各委員

**議会改革検討委員会**  
地方分権の時代にふさわしい効率的で、かつ、より開かれた議会のあり方を協議、検討します。  
現在の委員は、9名です。  
◎北山、○坂下、石倉、伊藤、江原、大川、北野、となき、浜崎の各委員(◎は議長、○は副議長)

# 6月定例会の議案審議から

6月定例会では、市長から提案された議案や、市民の皆さまから提出された請願など計31件について審議しました。

提出された議案は一部を除き、3つの常任委員会(総務・文教生活・産業建設)に付託し、慎重に審査しました。主な議案を報告します。

全員一致  
可決

## 平成26年度宝塚市一般会計補正予算(第1号)

**概要** 平成26年度の一般会計の歳入歳出予算の総額から、それぞれ1億4,690万円を減額、それぞれ715億3,310万円とし、債務負担行為及び地方債の補正を計上するもの。

(歳出予算) N T N株式会社宝塚製作所跡地利活用検討事業、情報ネットワークシステム管理事業、地域児童育成会待機児童保育助成事業、道路維持事業などの増額と、国の補正予算により平成25年度3月補正予算に前倒し計上したもののうち、平成26年度当初予算にも計上していた小学校施設整備事業、中学校施設整備事業などを減額。

(歳入予算) 国庫支出金や県支出金で社会保障・税番号制度システム整備費補助金、防災・安全交付金、消費者行政活性化基金補助金を、寄附金で奨学基金に対する寄附金を、繰入金で財政調整基金とりくずしをそれぞれ増額。国庫支出金で社会資本整備総合交付金、学校施設環境改善交付金を、繰入金で公共施設等整備保全基金とりくずしを、市債で市営住宅整備事業債、小学校施設整備事業債、中学校施設整備事業債を、それぞれ減額。

(債務負担行為) 社会保障・税番号制度対応システム改修業務委託料を追加。

(地方債) 市営住宅整備事業債、小学校施設整備事業債、中学校施設整備事業債の限度額をそれぞれ減額。

**主な質疑** 情報ネットワークシステム管理事業、社会保障・税番号制度対応システム改修業務委託料については、社会保障・税番号制度(マイナンバー)対応システム改修費用や本市の基幹系システム改修スケジュールとの調整について質疑がありました。

N T N(株)宝塚製作所跡地及び宝塚ガーデンフィールズ跡地の利活用検討事業については、各跡地利活用有識者等検討会の目的や審議の方向性、市民公募委員に期待する役割、N T N(株)宝塚製作所跡地までを都市核とした意味などについて、質疑がありました。

そのほか、文化振興事業、地域児童育成会待機児童保育助成事業、橋梁点検、既設公園の遊具更新などについて質疑がありました。

また、賛成討論ではありますが、「各跡地利活用有識者等検討会の検討すべきところが、どういうハコを作っていくかということに向かっているような気がする。本来は、どう使うかということを決めてからのことであり、もう一度内容の整理が必要であると考えている。」との指摘がありました。



全員一致  
可決

## 宝塚市子どもの権利サポート委員会条例の制定

**概要** 社会問題化しているいじめと体罰に係る子どもの権利侵害に対し、本市では現在、子どもの人権擁護委員を要綱設置し対応していますが、宝塚市子ども審議会からの答申を尊重し、いじめ、体罰に特化せず、子どもの人権全体について子どもの最善の利益の確保を図るため、宝塚市子どもの権利サポート委員会(以下「サポート委員会」)を設置し、子どもの権利救済手続きを整備するため、条例を制定するもの。

**主な質疑** 「基本理念と条文について」では、サポート委員会の調査権の範囲、委員会名称を途中で変更した理由、委員会の役割を確認する質疑が出され論点「実施にあたって」では、市民への制度説明や相談窓口の周知方法、相談窓口の開設場所、サポート委員会を補佐する相談員の応募資格と業務内容、サポート委員会が独任制を採用した理由、調査を実施する際の学校側との連携、具体的な事例を示すマニュアルの作成についてなどの質疑が出されました。

※サポート委員会……相談は誰でもでき、救済申し立ては、市内在住、在勤、在学等の18歳未満の子ども及びそれに準じて規則に定める19歳までの者又はその保護者としています。そして、同委員会では調査、勧告、公表等の権限が強化されています。

また、簡易さ、迅速さが求められるため、1案件に対しサポート委員1人が進行管理を担当する独任制を採用し、勧告、公表等の決定の際は合議制をとるとしています。

全員一致  
可決

## 宝塚市奨学基金条例の一部改正

**概要** 改正前の条例は、基金の総額が定められ、新たな寄附がある度に基金総額を変更する条例改正を行う必要があり、柔軟な対応が困難であること。また、平成25年12月市議会定例会において、同条例の一部改正の審議を行った際に、文教生活常任委員会で、基金への積立てに関する規定の追加を検討することを求める附帯決議が可決されたことを踏まえ、基金として積み立てる額は基金への積立てを指定した寄附金の額とするとともに、所要の整備を行うため、条例を一部改正するもの。

**主な質疑** 「今後の運用について」を論点とし、条例改正や基金への寄附金募集に関する市民への周知、修学資金制度に関する生徒への周知、修学資金の貸付や返済などについての質疑が出されました。

※奨学基金について……奨学基金は、経済的な理由により修学が困難な高校生及び大学生を対象とした修学資金の給付や貸付に要する資金に充てるため、市民からの寄附金50万円を原資として、昭和41年に創設しました。その後、市民からの寄附金として昭和51年に100万円、昭和56年に220万円を受け、基金総額を変更する条例改正を行い、基金に積み増してきました。

なお、改正前の条例では、基金総額を370万円と定め、基金利子を修学資金の財源の一部として運用していました。







## 宝塚市火災予防条例の一部改正

**概要** 平成25年8月の福知山花火大会事故を受けて政令が一部改正されたことに伴い、多数の人の集まる催しで対象火気器具等を使用する者に消火器の準備を、対象火気器具等を使用する露店等の開設者に消防署長への届出をそれぞれ義務付けるもの。

**主な質疑** 花火大会事故の原因である発電機のガソリンの使用は、今回の改正と直接関係しないのではという問いに対し、噴出したガソリンに対象火気器具の火が引火した事故なので、ガソリンの使用についても充分指導していくとのことでした。また、罰則規定がないので実効性に問題があるのではという問いに対し、今後はこの条例改正を契機に次のステップで罰則も付随するような形を考えているとのことでした。



## 宝塚市再生可能エネルギーの利用の推進に関する基本条例の制定

**概要** 本市における再生可能エネルギーの利用の推進に関する基本理念や「市民」、「事業者」、「エネルギー事業者」及び「地域エネルギー事業者」の役割、「市」の責務などを定めることで、再生可能エネルギー事業のあり方を明確にするとともに、市民、事業者及び市が協働で再生可能エネルギーの利用の推進を図り、持続可能なまちづくりに寄与することを目的として、条例を制定するもの。

**主な質疑** 再生可能エネルギーには太陽光、太陽熱、水力、風力、地熱、バイオマスなどがある中で、市の説明では太陽光のみの説明になっているがどうかとの問いに対し、本市では「太陽エネルギー」を使った再生可能エネルギーが最も適しているとの分析結果が出ているので、「太陽光」、「太陽熱」を中心に組み込んでいきたいが、その他の再生可能エネルギーについても、調査研究をしていきたいとのことでした。

また、市として再生可能エネルギーの普及を推進するなら、太陽光発電設備を設置した市民に補助金などの支援をしてもらいたいという問いに対し、補助金によらない政策を進めており、啓発事業や情報提供に取り組むとのことでした。

さらに、国のエネルギー政策基本法に定められていない協力義務を課していることや積極的な生産を行うという本市独自の規定がみられるが、上乗せ条例になっているのではという問いに対し、市民や事業者の主体的な取り組みを呼びかけるための市の姿勢を担保するための条例であり、上乗せではないとのことでした。

趣旨には賛成だが、自分が事業者であるという認識のない市民に義務が課される可能性等があるという反対討論もありました。



市民発電所の太陽光パネル

◆各議員の賛否(賛成=○、反対=×)※議長は表決に加わりません。

山本	石倉	北山	坂下	富川	浜崎	村上	たぶち	草野	田中	となき	中野	江原	藤岡	三宅	寺本	井上	北野	伊藤	浅谷	大河内	大川	佐藤	伊福	大島	藤本
○	○	※議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×

全員一致  
可決

## 損害賠償額の決定

**概要** 平成26年2月に発生した、クリーンセンター職員による業務上の車両事故により、民家の塀を損傷したことに對し、損害賠償額を129万6千円に決定するもの。

**主な質疑** 収集時間は通学時間帯でもあり、収集に要する時間に制限があるとあわてて事故になる可能性があるのではという問いに對し、ごみ収集は狭い道路も多く、確實、安全に収集するため時間制限は設けていない、時間がかかっても安全に収集するよう指導しているとのことでした。また、再発防止対策についての問いに對し、安全運転管理者を各事業所に置き年2回行う安全運転講習や、教習所での運転技能講習、同乗者の声の掛け合いなど、事故防止についてさらに周知徹底するとのことでした。

全員一致  
採択

## 請願 手話言語法制定を求める意見書の提出を

**請願の趣旨** 手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備に向けた法整備を国として実現することが必要として、「手話言語法(仮称)」を制定することを国に對して求めるもの。

**請願の項目** 手話言語法制定を求める意見書を国に提出してください。

**主な質疑** 審査では、全国の手話に関する環境整備の状況や手話言語法制定を求める国内での動き、手話言語法に期待すること、先行して手話言語条例を制定した自治体での状況と市民の役割などについて質疑がありました。

また、平成23年の改正障害者基本法で手話も言語として位置付けられています、その関連性についても確認がありました。

なお、文教生活常任委員会の審査冒頭には、請願の口頭陳述(手話での陳述)が行われ、委員は手話通訳を通じて請願の趣旨や現状の説明を受けました。



意見書名	意見書の送付先
総合的、体系的若者雇用対策を求める意見書	内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣
地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書	内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣
豊かな教育を実現するための義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	財務大臣、総務大臣、文部科学大臣
手話言語法制定を求める意見書	内閣総理大臣

関係機関へ送付しました。  
6月定例会では4件の意見書を全員一致で可決し、

意見書

## 賛否が全員一致した議案等

専決処分した事件の承認を求めることについて 計3件 (宝塚市市税条例の一部を改正する条例の制定について、宝塚市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について、及び宝塚市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認
平成26年度宝塚市特別会計国民健康保険事業費補正予算(第1号)	可決
平成26年度宝塚市病院事業会計補正予算(第1号)	
宝塚市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	
宝塚市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	
宝塚市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
損害賠償の額の決定について(市立病院の医療事故によるもの)	
財産(塵芥収集車(3.5トン積機械車)及びミニダンプ車)の取得について	
宝塚市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	認定
宝塚市自治功労者の認定について	
宝塚市農業共済損害評価会の委員選任につき同意を求めることについて	同意
豊かな教育を実現するための義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願	採択

## 賛否が分かれた議案(各会派・各議員の賛否 賛成=○ 反対=×)

会派名	宝結会					日本共産党宝塚市議会議員団			公明党議員団			ユニットF宝塚		新風宝塚改革の会		太誠会		無所属		無所属							
	議員名	山本敬子	石倉加代子	北山照昭	坂下賢治	富川晃太郎	浜崎史孝	村上正明	たぶち静子	草野義雄	田中こう	となき正勝	中野和明	江原和枝	藤岡浩二	寺本早苗	井上きよし	北野聡子	伊藤順一	浅谷亜紀	大河内茂太	大川裕之	佐藤基裕	伊福義治	大島淡紅子	藤本誠	
宝塚市市税条例の一部を改正する条例の制定について 可決(賛成多数)	○	○	※1議長	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
北山照昭議長に対する不信任決議について 可決(賛成多数)	×	×	※2除斥	※2副議長	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	
『「特定秘密の保護に関する法律」の廃止を求める意見書』提出を求める請願 不採択(賛成少数)	×	×	※1議長	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	棄権	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	
子ども・子育て支援新制度に関する請願 不採択(賛成少数)	×	×	※1議長	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	

※1 過半数議決の場合、議員には賛成・反対の表決権がありますが、議長には表決権がありません。ただし、表決において賛成・反対が同数つまり「可否同数」になった場合、議長には可決か否決かを決定する裁決権が認められています。  
 ※2 除斥とは、議会における審議の公正を期すために、利害関係を有する議員が審議に参加することができない制度です。北山照昭議長に対する不信任決議については、北山議長に直接利害関係があるため、除斥対象となりました。このため、坂下副議長が会議の運営を行い、採決に加わっていません。

### その他結果

※辞職勧告決議を受けた議員に、反省を促す具体策を検討するよう議会に求める陳情は、議会運営委員会で審査し、全員一致で趣旨採択となりました。  
 ※人権に配慮した行政運営についての陳情は、総務常任委員会で審査し、賛成少数で不採択となりました。

6月定例会で次の決議案を賛成多数で可決しました。

北山照昭議長に対する不信任決議について(概要)

本年6月定例会の一般質問の中で、市長に対して職員人事に関する要望等があったとの答弁がなされた。宝塚市議会議員の政治倫理に関する条例に議員が遵守しなければならない政治倫理基準が記述され、同条例施行規程には、議員は、市職員の採用、昇格又は異動に関して一切の関与はしないと規定されており、市議会議員の模範として、この条例の適正な運営に努めなければならない議長自ら、政治倫理基準に反するような行動をとることは、到底許すことはできない事案である。

よって、北山議員に対する議長不信任を決議する。

◆なお、決議案の審議に際しては、北山議長から、職員人事への関与を否定する弁明が行われました。



22名の議員が市政の課題を問う

# 一般質問

6月定例会では、6月17日から20日までの4日間、一般質問を行います。

一般質問では、22名の議員が積極的にさまざまな市政の課題を取り上げ、それぞれの観点から、行政当局の考え方、取り組み姿勢や、今後の方向性などを問いました。

すべてをご紹介することはできませんが、その要旨を掲載します。



日本共産党  
宝塚市会議員 となき正勝

## 介護保険制度改悪を許すな

**【介護保険】**  
問 国の方針で、要支援者への支援の大半が、介護事業所からNPO等に丸投げ。大きな後退では。

答 介護事業所に加え、市町村の判断でNPO等を活用。地域の実情に応じた、効率的かつ効果的なサービス提供を行うことが目的。  
問 介護を切り捨てる流れで許されない。介護の質、量の確保に最大限の努力を。

答 地域の特性に応じた介護基盤の整備が趣旨。適切な設定を行っていきたい。  
問 現行1割の利用者負担が、5人に1人は2割に負担が増加。市民の生活状況を見て必要な軽減措置を。

答 市も利用者も一層厳しい状況。市独自施策や減免も検討したいとの思い。  
問 介護保険は国の社会制度の大きな根幹の一つ。国へ恒久的な対応を要請している。

**【再生可能エネルギーの普及を】**  
問 自治会が指定管理者である地域利用施設等への太陽光パネル設置に支援を。

答 国や県の補助制度等が利用可能か、検討を行う。  
問 指定管理者の自治会が太陽光パネルを設置する場合、指定期間の考え方は。

答 太陽光パネルの設置は長期間に及ぶ。今後は公募ではなく随意契約も検討。  
問 施設の構造上、強化が必要の場合の費用負担は。  
答 現状は予算化しておらず、関係課と協議したい。



## 認知症を見守る社会を

無所属  
大島淡紅子

**【認知症でも暮らせるまち】**

問 認知症高齢者の徘徊による列車事故の責任を家族に求める判決に、弁護士は地域で見守る介護の社会化に逆行との見解。介護する家族への本市の支援策は。

答 市内6カ所の地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を兼務する職員を配置し、相談業務を実施。また、徘徊時に早期発見できるGPS端末装置の

レンタルを行う支援も展開。

問 徘徊する認知症の方の気持ちを理解し見守る目をふやすことが重要。本市の認知症キッズサポーター養成講座の概要は。

答 市内小学校の主に4年生の授業で児童と保護者を対象に、認知症を理解しやすい紙芝居や身近な具体例を用いる等工夫し、実施。  
**【官製ワーキングプア】**  
問 本市は他の特例市と

比べ、正規職員を削減し過ぎた結果、仕事が回らず、不安定な非正規職員も3割を超えている。市の見解は。

答 災害時の危機管理や行政の継続性確保の観点から検討の必要がある。  
**【トライやる・ウィーク】**  
問 受入先として自衛隊に依頼した経緯の詳細は。

答 前年度、市内中学校生徒から希望があり、自衛隊へ照会したところ、社会で大切な礼儀作法や体力づくり等、生徒の自主性が高まるものと判断したため。  
意見 事前学習が必要。



日本共産党  
宝塚市会議員 草野 義雄

## 高齢者を社会の支え手に

**【超高齢社会】**

問 本市が抱える最大の課題は超高齢社会への対応。今後のまちづくりに向けた組織横断的な取り組みは。

答 本市はWHOが提唱するエイジフレンドリーシティを推進しており、本年1月に庁内23課で構成する検討会を設置。今後、高齢者に優しく元気に暮らせるまちづくりを検討していく。

問 高齢者を有意義な社会の支え手として考えるべき。その最低条件は健康であること。健康推進に関する市の計画や施策に共助の考え方がないのはなぜか。

答 近年、生活習慣病予防に向け、ライフステージに応じた健康づくりに重点を置く。個人の健康づくりを社会全体で支える環境整備の推進が市の基本方針。  
意見 健康づくりを自己責任だけにせず、健康推進

のあり方を見直してほしい。  
**【第5次総合計画】**  
問 第5次総合計画の後期基本計画の重点は何か。

答 人口減少への転換や少子高齢化の進行への対応、市民と行政の協働によるまちづくりの推進などが課題。  
問 第4次総合計画で策定した地域計画の扱いは。

答 地域計画を第4次総合計画の一部と位置付け、協働のまちづくり計画としてまとめたが、10年が経過し、実情と合わない部分が出ています。計画を検証し、必要な見直しをしたい。

## 法令を遵守し市民の信頼を

公明党議員団 江原 和明



### 【福祉サービスの充実】

問 他市では、市の登録ボランティアが高齢者の要請を受け、有料でごみ出しや電球交換等の家事援助を行うワンコインサービスを実施。本市での取り組みは。

答 地域の実情に合わせ、住民主体の生活支援の多様なあり方について検討する。

### 【住宅改助成金制度】

問 助成金の償還払い方式を、いつから受領委任方

式へ改善するのか。

答 利用者の経済的負担の軽減等を図るため、本年11月申請分から導入予定。

### 【宝塚市立病院】

問 投資をしないと収益は上がらない。救急事業における収益向上の方向性は。

答 救急患者の受入は増加しているが、受入病棟が多忙を極め入院に結びつけられない。救急患者を専用病棟に集約し、診断終了後、

各病棟への入院に結びつけられないかを検討している。そのためには現在休止している病棟を再開し、看護師を確保する必要がある。

### 【議員の口利き防止】

問 前上下水道事業管理者の人事について、議員等から要望はあったのか。

答 要望か、提言か、意見かは判断がつかかねるが、そのようなことはあった。

### 【意見】

議員は、市職員の採用、昇格又は異動に関し一切関与しないと倫理条例にある。法令を遵守しないと市民に信頼されない。

## 市職員に接遇マニユアルを

無所属 伊福 義治



### 【学校グラウンドの整備】

問 20年以上も放置されていたグラウンドの整備が、

議会で指摘をした結果、順次土壌改良が進められ、児童生徒、地域の人、スポーツ団体や学校の先生も喜んでい。今後の整備方針は。

### 【売布北グラウンドの改善】

問 使用開始してから多くの不具合が出ている。現時点での改善要望と対応は。

答 ファウルグラウンド内にあるベンチの移設要望があり、費用を積算中。テナスコート付近にトイレ設置の要望があり、本年度設計、来年度以降早期に設置。

### 【意見】

他にも防球ネットが邪魔になるなどの問題が

ある。また、バックネット裏にもトイレは必要。

### 【市職員のための接遇マニユアルの整備を】

問 市庁舎放火事件報告書に職員の接遇力についての記載があり、市民からも窓口対応等での問題について、同姓同名の他人の申請書を交付されたことがあるなどの指摘を受けた。職員の接遇力を底上げし、市民の信頼を得るため、接遇マニユアルの整備が必要では。

## 自衛隊の訓練内容の公開を

日本共産党 宝塚市会議員団 田中 こう



### 【生活困窮者自立支援法】

問 生活保護受給者はシングルマザーや若い人も多

い。保護世帯や相談者へのセクハラ防止の取り組みは。

### 【仁川団地地区内認可保育所】

問 仁川保育所に代わる保育所整備は、市主体では

なくURによる入札で事業者が決定。当初の2015年4月開設に向け、市はどのように関わってきたのか。

### 【長尾山演習場の現状】

問 過去に市長や市議会から示された、演習場の大

規模公園化への見解は。

### 【意見】

情報原則公開が基本である。

## 文化芸術振興施策を早急に

宝結会 石倉加代子



### 【文化芸術の薫るまちづくり】

問 文化の薫るまちづくり研究会を設置し条例を制定したが、宝塚市民文化芸術振興会議の中でいまだ施策が具体化されていない。

今が早急に検討を進め来年度に向かう時期と考えるが。

### 【海外姉妹都市交流】

問 オーガスタ市とは多岐にわたる交流が続いてい

たが、現在凍結中。その中で、オーガスタ交響楽団音楽監督クワハラ氏が来宝される。市民レベルでの交流について市は積極的に支援をしてほしいと考えるが。

### 【長尾山演習場の現状】

問 過去に市長や市議会から示された、演習場の大

規模公園化への見解は。

### 【意見】

情報原則公開が基本である。





## 小浜宿まつりの今後は

公明党議員団 二二七 浩一

### 【小浜宿まつりについて】

問 当初、このまつりは市と地域の共催だった。その後助成金もなくなり、時代風行も休止した。せめて行列実施のための助成を5年に一回でも出来ないか。

答 地域が一つになって提案いただければ、市も教育委員会も協議する可能性はあるが、助成の確約は出来ない。

問 塚の歴史的遺産を後世に伝える目的がある。20年経ち、市と地域が協力しあう協働の姿勢が薄れているのでは。

答 当初の形の再現は難しいが、地域と相談しながら考えていくことを、今後検討したい。

### 【花屋敷グラウンド整備】

問 工事に際し、地域住民の安心のため、市の持つ情報をもっと出すべきでは。

答 地域住民にいろんな

機会を通して、アスベスト問題等工事の安全性についての説明を今後もしていく。

### 【高齢者世帯における防災対策としての粗大ごみ収集】

問 家具の処分も防災対策として効果があるが、高齢者世帯には負担が大きい。定期的でなければ、代わりに地域住民の持ち込みも許可する等検討できないか。

答 廃掃法では、本人か家族の持ち込みまたは同乗が必要となる。しかし、高齢等でそれが困難な場合は、地域による処理方法について検討していく。



## 市民活動の場の確保を

ユニットF宝塚 北野 聡子

### 【統一地方選挙に向けて】

問 市長・市議会議員選挙は一番市民に身近な選挙。投票率アップの取り組みは。

答 明るい選挙推進協議会とともに様々な機会を通じて政治意識の高揚や選挙に関する啓発に努めている。

### 【中央公民館の今後】

問 閉館後の、学習機会と活動保障は。

答 現時点で勤労市民センターの辺りも移転先の有力候補地の1つ。速やかに方針決定し、早期開設に取り組む。利用者には活動継続の相談に応じて支援する。

### 【子どもの人権擁護事業】

問 窓口開設後の課題は。

答 本年4月末までに30件の相談。いじめと体罰に限らず、子どもの権利全体を擁護する制度とすること。

全公民館の企画立案を行う。

### 【勤労市民センター】

問 平成27年3月に指定管理が終了。閉館するのは。

答 廃止時期については柔軟に対応していく。

### 【子どもの人権擁護事業】

問 窓口開設後の課題は。

答 本年4月末までに30件の相談。いじめと体罰に限らず、子どもの権利全体を擁護する制度とすること。



## 徘徊高齢者の早期の保護を

ユニットF宝塚 寺本 早苗

### 【認知症高齢者支援】

問 国の認知症施策推進5か年計画に基づく本市の取組状況は。

答 標準的な認知症ケアパスの作成・普及、医療・介護サービスを担う人材育成など7分野で県と役割分担し計画推進を図っている。

### 【教育委員会制度の改正】

問 徘徊高齢者の早期発見をめざす警察のSOSネットワークの稼働状況は。

答 通信機器の不具合で

一時中断していたが本年5月26日から再稼働。その後2件の情報が寄せられ解決。

意見 土日、夜間などの対応も必要。さきの鉄道事故の例もあり、早期に保護する体制づくりが急がれる。

問 中川市長の考える教育委員会のあり方は。

答 地域住民の意向を踏まえ首長から独立した行政委員会として教育行政を担

い、首長への権限集中を防ぐとともに中立性と安定性を保った行政運営が必要。

### 【宝塚ガーデンフィールズ跡地活用策】

問 基本計画に市民の声はどう生かされるのか。

答 基本構想策定に関わった方を含め、意見を聞く場を設けたい。パブコメなど幅広く意見を求めていく。



## 保育コンシェルジュを開始

公明党議員団 藤岡 和枝

### 【徘徊高齢者の安否確認のための体制】

問 他市では、警察に出された行方不明の届を元に、FM放送の番組を中断して呼びかけ、その情報を聞いた人が徘徊高齢者を発見し、保護したという事例もある。本市でもできないか。

答 FM放送を使うことで、タクシーやバス等の現場で見える可能性は高まる。エフエム宝塚からも

前向きな返事をいただき、宝塚警察にも提案している。

問 徘徊SOSネットワークに、安心メールを活用しているところもあるが、本市でも検討できないか。

答 メディアが多いことは行方不明者を発見する上で有効。所管する宝塚警察等と協議したい。

問 認知症の早期発見、早期治療の観点から、ホームページに認知症をチェック

できる機能の追加。

問 自己診断ツールとして、新たに簡易なチェックサイトの導入を検討したい。

答 子ども・子育て支援新制度

問 保育コンシェルジュを来年度から実施するとのことだが詳細は。

答 来年度からの実施に先立ち、10月頃からの新年度の入所案内や受付業務の専任として、臨時職員を2名程度配置し、業務軽減を図るとともに専門的な誘導策、支援策が開始できる準備をするよう考えている。





## 防災井戸支援に工夫を

公明党議員団 中野 正

### 【市民の防災井戸支援】

問 ホームページ上で公表してしまくと、災害時に見知らぬ人が来るのでは等の不安から、市民が公募に手を挙げるのに抵抗がある。地域での限定的な公表の仕方では支援できないか。

答 地域限定の活用への支援は、公平性の観点から困難。地域の地区防災計画に位置づけられた地域限定の防災井戸への支援策は検

### 【武庫川左岸側の清掃活動】

問 ひょうごアドプト制度で河川敷を管理している団体が、登録範囲が広く管理し切れないとの悩みを抱えている。市職員もボランティアで協力できないか。

答 同制度は市民の自主的な思いを地域活動につなげる仕組み。できるだけ市職員も参加し、地域と顔の見える付き合いで一緒に汗

を流せるよう工夫したい。

### 【緊急通報システム】

問 設置条件がアナログ回線のため、条件に合わない独居高齢者や障がい者は設置を諦めている。市の対応の遅れから、助かる命を見捨てることになるが。

答 デジタル回線は、停電時に不通となる不具合が生じる恐れがあり、他市ではそのことの承諾を得て設置を認めている例もある。本市も検討していきたい。

意見 IP電話等の普及から、アナログ回線はいづれなくなる。早急に対応を。



## 市民に寄り添う医療相談を

新風宝塚改革の会 浅谷 亜紀

### 【身近な公園で健康づくり】

問 従来、公園は主に幼児や児童向け遊具が整備されてきたが、今後は高齢者の健康づくりの視点を持つべき。高齢者の利用増加は、子どもたちの見守り体制の強化や子育て世代との交流にもつながると考えるが。

答 今後の公園の遊具の選定の際には、若いも若きも安全に使える健康遊具を初め、地域の特性に合った

### 【医療相談専用ダイヤル】

問 緊急の場合に特化せず、医療や健康に關した相談窓口を一本化し、24時間体制で看護師が対応するシステムを導入している市がある。応急処置法、育児相談やメンタルヘルスにも対応し、市民の安心・安全に

遊具の設置を検討していく。意見 高齢者の健康促進に向け、公園の所管課と関係課で連携した取り組みを。

大きく貢献している。本市でも導入を検討しては。

答 急病時の相談は、24時間対応の消防テレホンガイドのほか、阪神北広域こども急病センターによる電話相談がある。健康相談は、健康センターなどに窓口があり、導入効果は高いと考えるが、各相談窓口の周知方法など研究していく。

意見 緊急以外、現体制では時間や相談内容に限りがある。今後更に相談内容の多様化を予測。ニーズ調査を行い、窓口を一本化した24時間相談体制の検討を。



## 国保財政の健全化を

宝結会 富川晃太郎

### 【ウメ輪紋ウィルスの影響】

問 緊急防除区域内でも、サクラにはウメ輪紋ウィルスの影響はない。その安全性を宣言してもらいたい。

答 サクラの安全性について、市ホームページにおいて明言するなど努力する。

### 【国民健康保険の赤字解消】

問 歳出抑制の観点から特定健診の受診率向上が必要。健康センターでの土日の健診実施状況は。

中実施に向け取り組む。

### 【宝塚市花について】

問 市花であるスマイレを市内でなかなか見かけないが、市民ボランティアの協力で育てることも考えては。

答 春野町の市民団体の取り組みも研究していく。

意見 特産品のダリアも第2の市花として検討を。



## 日本中から選ばれる宝塚へ

新風宝塚改革の会 伊藤 順一

### 【我が市のICT総合戦略】

問 本年3月定例会で、関係課を集めて検討会議をスタートしたいとの答弁があったが、現在の状況は。

答 今年度後半には協議を進め、第5次総計の後期基本計画の策定に合わせて、総合的な取り組みをまとめ、ICTの活用を推進したい。

意見 ICTスマートタウン宝塚を目指し、市民が住んでよかったと思える先

### 【市内道路政策とNTN(株)宝塚製作所跡地利活用】

問 NTN(株)跡地の開発による道路の渋滞が予測されるが、伊子志旭町線の早期着工をすべきでは。

答 十分検討の対象として、協議を進めたい。

問 市民ホール建設は市民の願い。NTN(株)跡地は建設の最後の可能性のある場所ではないか。

答 市民ホールは将来に向けての課題で、立地に適した土地も数多くないが、今後文化の核となる施設があるべき場所の議論が必要。

意見 文化にとられず、大型で市民の集える場所との認識で、基本方針決定を。

### 【財政改革】

問 市職員給与削減に対する市長の見解は。

答 地方公務員法の原則、現在の給与削減措置や財政状況も勘案し判断していく。

意見 全職員が行革に前向きに取り組めるよう、市長の姿勢を示し決断を。



## 新名神高速道路の進捗は

宝結会 山本 敬子

### 【新名神高速道路の進捗】

問 (仮称) 宝塚サービ

スエリアは、他と差別化した、宝塚らしさの薫る文化・観光の発信基地として貢献する施設になるのか。

答 例えばサービスエリ

アの外観や内部の構成の中に、歌劇や手塚作品など宝塚らしさを反映した内容を盛り込んで協議していく。

問 (仮称) 宝塚北スマートインターチェンジにア

クセスする県道整備状況は。答 待避車線や拡幅整備など、平成28年度の完成を目指して鋭意工事は進捗中。意見 地域の雇用の促進や農産物の販売など、県や西日本高速道路(株)に要望を。

### 【市役所内の危機管理】

問 昨年の職員不祥事

案を受けての綱紀粛正に甘さはないか。

答 再発防止策として、今年設置した委員会や弁護

士の意見も取り入れ、行動基準を作成し、今年6月に職員へ周知している。また、職員研修も実施する予定。

### 【クリーンセンター新施設】

問 焼却施設を広域化する

ことによるメリット、デメリットは何か。

答 メリットは建設コスト等削減ほか、施設大型化によるダイオキシンの排出削減等。デメリットは搬送の長距離化による収集コスト増、運搬車のCO2排出増。

意見 メリットの方が大きいなら、近隣の市との連携を考えては。

## アドバイザー活用は慎重に

宝結会 村上 正明

### 【政策アドバイザー】

問 3人のアドバイザー

が、市に果たした成果は。答 例えば、産業振興、観光集客の分野では、専門的な見地から助言を受け、今後の市施策を検討、展開する上で参考とした。また、政策形成のノウハウを学び、職員の資質向上を図った。

問 今後の活用は。

答 専門性をより広く活用するほか、本市行政課題

の解決に向け新たな行政分野にアドバイザーを置くことも視野に活用を検討する。意見 真に必要か、市長の方針に合致しているかなどよく検討の上、活用されるよう要望する。

### 【情報公開の考え方】

問 公開請求の結果が非

公開であれば審査会に異議申し立てをできるが、答申

までに10カ月を要する例がある。異議申し立てにも期

限を設けるべきでは。答 期限を設けるのは困難であるが、引き続き効率的な運営を図っていく。

### 【自治会連合会と市】

問 連合会の出納事務は、

事務支援に含まれるのか。答 旧来から自治会活動の支援として、市で出納事務を行っている。

問 通帳も印鑑も市が持つて

いるという事か。答 以前から連合会の通帳、印鑑を預かっている。印鑑の使用や金銭の出し入れは、連合会から指示があった場合に限り行っている。

## 特定秘密保護法に理解を

新風宝塚改革の会 大河内茂太

### 【芸術・文化施策の取り組み】

問 現状認識と今後の課題は。

答 不十分な分野もあると認識している。宝塚市民芸術文化振興会議で幅広い市民交流のあり方や気楽に参加できる講座の開設などの提案をいただいている。

意見 出た意見の羅列ではないけない。策定中の基本計画には一本の柱が必要。

芸術を展示するだけでなく、生み出すための環境整備、具体的には若い創作意欲あるアーティストを本市に集めるための環境整備を。

### 【特定秘密保護法について】

問 今までは無期限無制限に秘密が指定されてきた。それを厳格な条件の下にルール化し、期間も原則30年にして、それ以降は公開しようとするのが今回の法律。処罰要件も厳格に指定され

ており、単に知ろうとする行為は処罰されない。自衛隊長尾山演習場での訓練について単に問い合わせる行為が処罰される可能性があるとの当局の答弁は誤り。

答 昨年12月議会での答弁の後で内閣官房から示された問答集に公務員等以外の者が処罰の対象となる行為が明確にうたわれており、大河内議員の見解が正解であると思われる。国は法施行までに統一的な基準を設けることとしており、今後は、そういったものを踏まえた上で判断をしたい。

## 官民連携で地域課題解決を

太誠会 大川 裕之

### 【宝塚ガーデンフィールズ跡地及びNTN(株)宝塚製作所跡地の利活用について】

問 これら跡地利用にか

かる官民連携の導入方針は。答 土地の特性を生かし、エリア全体の魅力を向上させるには、行政主導ではなく民間技術等の積極的導入が必要。できる限り民間事業者のニーズ把握に努め、連携を模索したい。

問 市民とのワークショ

ップを開催した目的は。答 市民が末永く愛着を持って親しめる空間とするには、構想の段階から参画していただき、一緒に考える取り組みが大切と考えた。

問 基本構想は、単にニーズをまとめたもの。市民が現在と未来の目線を持つて、選択と評価ができる立場で政策決定の過程に参画すべき。市民にその役割を説明し、協働を。

答 開発系の合意形成は、協働では大変難しい。また、専門の領域もあり、市民の役割分担を具体的にし、総意を形成することも簡単ではない。今後は、市民の意見を聞く中で役割を決めていくよう努めたい。

意見 PFIの活用で民間の業務範囲を広げ、その独立採算による有料サービスとそれを財源とした無料サービスを提供する。この付加価値の部分を、地域課題の解決やエリアマネジメントに利用することが今後の官民連携の方向性。







ユニットF宝塚 井上きよし

## 障がい者の授産品の活用を

### 【ふるさと納税と文化・福祉の推進】

**問** 障害者優先調達法の施行から1年。障がい者の授産品を優先的にふるさと納税の記念品に活用しては。 **答** 障がい者就労施設の生産品を生かすのは大切。調達量が課題だが、できることから始めるよう検討。

**【医療的ケアを必要とする障害児への支援】**

**問** 市内に医療的行為の

できる事業所が少なく、日中一時支援サービスを受けられない現状にある。

**答** 児童が利用できる6事業所のうち、医療的ケアができるのは1カ所。状況に応じ看護師も従事し、4名まで受け入れできる。

**問** 介護職員が医療的ケアを行えるよう研修費を助成し、残る5つの事業所に指導や助言はできないか。

**答** サービス基盤が十分

でないことは承知しているが、全国的な課題である。国が認める医療的行為はたんの吸引と胃ろうのみで進んでおらず、本市の整備が一足飛びに進む状況にない。

### 【市立病院のショートステイ事業】

**問** 市立病院の在宅支援についての現状は。

**答** 市立病院は医療型短期入所事業の実施医療機関利用に必要な身体介護の状況把握は終えている。短期入所のための連続した個室の確保は困難な状況。今後は日帰り短期入所を検討。



日本共産党 宝塚市議会議員団

## 安全を優先した宅地開発を

### 【宅地開発について】

**問** 防災性、安全性が欠如した脆弱な宅地開発に対する開発後の安全対策は。

**答** 住宅の所有者等に対し、宅地造成に伴う災害が生じないためにも常時安全な状態に維持するよう指導している。

**問** 山本南3丁目の宅地開発地では道路幅員が3メートルしかないが、どのように考えているのか。

**答** 安全対策がとれるよう、拡張についても検討したい。

**【産後ケアについて】**

**問** 国は、産後ケアセンターの整備方針を打ち出したが、本市の考えは。

**答** 妊娠、出産包括支援モデルで示された医療機関や専門職を確保することが困難であり、国の検証結果を踏まえ、研究していく。

**意見** 市立病院は、早期

に産後ケアの取り組みを進めることを要望する。

### 【西谷地域の生活環境整備について】

**問** 合併処理槽の修理、維持管理に係る助成制度をどこまで検討したか。

**答** 南部市街地との負担の格差は認識しており、補助対象範囲や機器の劣化に対する助成方法などについて研究している。

**問** 若い世代が住み続けられる対策は。

**答** 若手世代の獲得に成功している先進事例を収集し、移住誘致の検討を行う。



## 公民館自ら代替施設確保を

### 【中央公民館】

**問** 多くの利用者から心配の声を聞く。建て替えに係る今後の計画は。

**答** 勤労市民センターのある辺りを有力な候補地の一つと考えている。速やかに移転先を方針決定し、早期開設に向け取り組む。

**問** 閉鎖による代替の活動場所は、施設リストを配布するだけで、個々の利用者に対応を任せるのか。

**答** 利用者を探していた多くの原則だが、個々の相談に応じ紹介はしている。

**意見** 代替場所の選定は中央公民館が考えるべき。

**【売布北グラウンドへの進入路について】**

**問** 進入道路の整備が実現せず、工事用車両は狭隘な迂回路を通行しているが。

**答** 開発事業者と前土地所有者との見解の相違から進入路が整備されていない。

## 議員研修会

5月から7月にかけて、3回の議員研修会を開催し、人権や防災について、理解を深めました。

### ●人権研修

5月13日に、性同一性障害をテーマとして、東京都世田谷区議会議員の上川あやさんを講師に招き、人権研修を開催しました。

この研修は市職員との合同研修として実施したものです。

### ●防災研修

議員の危機管理意識の高揚を図るため、2回にわたる防災研修を実施しました。

6月30日には、市の防災担当職員を講師とし、市の防災業務や災害対応、地域での取組状況について、理解を深めました。

また、7月10日には、「宝塚・防災リーダーの会」のご協力により、南海トラフ

講師自身の体験談にもとづき、社会的弱者に対して理解を深めていくことの重要性について学びました。

巨大地震に備えた実践的な判断能力を鍛えるため、ワークショップ形式の研修を実施しました。



ワークショップを通じて災害対応力を磨く



# 公共施設の整備に関する調査特別委員会報告

本委員会は、「公共施設及び公共用地の有効活用に関すること」と「既存の公共施設の再配置に関すること」を任務事項に、平成25年5月29日に9人の委員構成で設置され、1年にわたる調査を行いました。

その間、11回の委員会を開催し、調査を行った結果は次のとおりです。

【未使用市有地等の公共用地について】

一定利活用や処分の方性が決定され進められていることを確認した。

【公共施設に関して】

道路、橋梁施設、公園施設については、それぞれ長

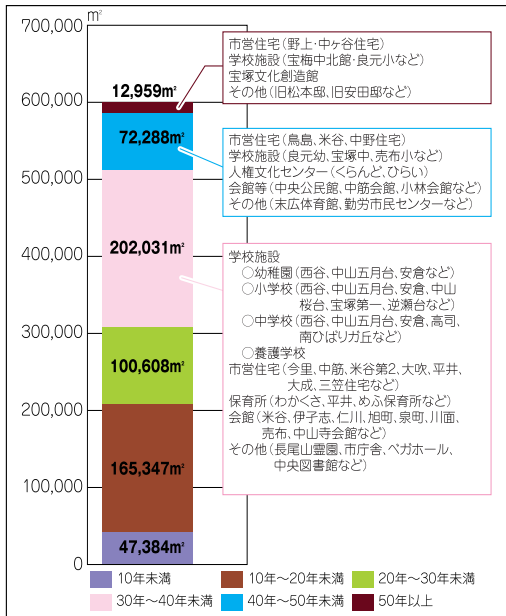
寿命化計画を策定中であることを確認した。

【耐震診断の結果】s値が低い施設のうち、施設所管課が中心となり、個別に今後の方向性について検討する施設

当該8施設（中央公民館、勤労市民センター、旧長尾支所、宝塚自然の家など）について確認したところ、一部を除いて廃止又は耐震化の方向で対応が進められていることを確認した。

【公共施設マネジメントの取組状況等について】

本市の公共施設マネジメントに関する当局からの説明、必要な資料の確認など



公共施設の老朽度合

に基づく議論から、少しずつではあるが、本市の公共施設マネジメントの前進を確認することができた。

しかし、調査活動の途中で、総務省から公共施設等総合管理計画の策定について要請があり、総務省の指針に基づく公共施設のマネジメントに方向転換することとなった。

## 【まとめ】

◆公共施設マネジメントの実施体制に関して

①公共施設マネジメントにおいては、トップダウンの強い意志が不可欠である。

②専任の組織を設置し、調査研究した情報をわかりやすく整理し、全庁的に、また市民に対しても周知するよう努めるべきである。

また、各担当部署を調整する組織とし、建築部門や財政部門とも協議して進めていかなければならない。

③実施にあたっては、庁内で情報を一元化する必要がある。

◆公共施設マネジメントの実施要領に関しては

①年々施設の老朽化は進行し、緊急性や財政的負担も日々深刻な問題となっている。

②公共施設マネジメントの推進には、長期の財政見通しを策定する必要がある。

そのための、早急に施設ごとの基本方針を策定し、公共施設マネジメントを行うとともに、長期の財政見通しを策定する必要がある。

②実施にあたっては、すべての公共施設の持つ機能を把握し、機能をどのように集約するのか、有効利用を図るのかを考える必要がある。

また、各施設の持つ機能の再配置や複合化、行政サービスの必要性、民間活力の導入等も考えなければならぬ。

③廃止する施設については、その施設の持つ機能をどこに移すかということや、その施設の利用者の受け皿をどうするのかということを慎重に考えなければならぬ。

また、施設を廃止し建物を解体した場合、その土地を有効に活用することが重要である。

④公共施設の建て替えの基準については、一律に60年と設定するのではなく、必要な改修を行うことにより、可能な限り延命化を図る必要がある。

また、新築及び建て替えにあたっては、省エネルギー化、LCA・高性能化に留意する。更に、

宝塚文化創造館や旧松本邸、旧安田邸などの歴史的な建物については別途に考える必要がある。公共施設マネジメントには、建築物の価値や建築文化的な価値という観点を入れる必要がある。

⑤再開発事業において取得した、公益施設の駐車場など、現在貸し付けをして収益を上げているものなど、

市が所有する必要のない施設を譲渡することにより、公共施設の総面積を減少させることが必要である。

⑥実施にあたっては職員の間、市民の合意、議会の合意が不可欠であるため、研究会や説明会を積極的に開催し、合意形成に努めなければならない。

## トライやる・ウィーク

### 市議会の仕事を体験

6月2日、3日の2日間、市立養護学校中学部2年生の高木美輝さんが、「トライやる・ウィーク」で市議会の仕事を体験しました。



まず、議長室、各会派の議員控室を回り、委員会の皆さんにあいさつした後、本会議場や委員会室を見学しました。議場では、議長席や議員の座り心地を体験した後、本会議場の放送室を見学。普段の議事録や議会の雰囲気や味を体験しました。また、宝塚市議会には全国から多くの議員が視察に来られますので、その際に使用する資料や、議会運営に必要な資料の整理など、市議会事務局の仕事を体験しました。

議会の仕事を体験した高木美輝さんからは、「たのしかったです。」「おしごとたいへんでした。」との感想が寄せられました。



# 議会研修会

宝塚の魅力 再発見！  
写真で見る  
100年前の風景

【日時】

10月10日(金)

午後2時～午後3時30分

【会場】

本会議場(市庁舎3階)

【講師】

市立西公民館長

倉橋滋樹さん

【参加について】

参加費用は無料です。

申し込みは不要。直接会場へお越しください。

当日午後1時30分から受付を開始します。

先着28名の方は議席で、

その他の方は傍聴席で聴講

いただきます。

【問い合わせ先】

議会事務局 総務課

TEL 0797-7712034



少女歌劇が公演されていた宝塚パラダイス

# 議会報告会

6月定例会に係る報告会を、7月11日(金)から13日(日)までの3日間開催し、審議結果と概要を報告しました。

地域利用施設御殿山会館では初めての開催でした。

各会場では、宝塚ガーデンフィールズ跡地利活用や

国民健康保険事業の赤字の

問題、奨学金についてや、

再生可能エネルギーの利用

の推進に関する基本条例の

内容、議長不信任決議の内

容などに対して、さまざま

なご質問やご意見をいた

しました。

次回の議会報告会は、下

記のとおりです。ぜひお越

しください。皆さまの来

場をお待ちしております。



次回開催 9月定例会の報告	日 時		場 所
	11月 7日 (金)	19:00~20:45	男女共同参画センター 学習交流室1 (A・B)
	11月 8日 (土)	10:00~12:00	東公民館 3階 301・302学習室
	11月 9日 (日)	14:00~16:00	西公民館 3階 セミナー室

※申し込みは不要です。直接会場へお越しください。また、事前にご連絡をいただければ、手話通訳者、要約筆記者を配置します。  
【お問い合わせ】 議会事務局 議事調査課 (TEL) 0797-77-2168 (FAX) 0797-74-6902

# 傍聴について

市議会の本会議や委員会

は一般に公開されており、

受付簿に氏名などをご記入

いただくだけで、どなたで

も傍聴いただけます。

議員の活動や市政の動向

等を知る機会でもあります

ので、ぜひ傍聴にお越し

ください。

■手話通訳・要約筆記

手話通訳者や要約筆記者

の介助を希望される場合は、

「宝塚市(手話通訳者・要

約筆記者) 派遣申込書」を

障害福祉課へFAXしてい

ただいか、もしくは窓口へ

お申し出ください。

TEL 0797-7718086

FAX 0797-7718086

TEL 0797-7712077

# 7月臨時議会

宝塚市農業委員会の委員

の任期が平成26年7月19日

をもって満了するため、7

月10日に第3回市議会(臨

時会)を開催し、本市議会

の推薦すべき農業委員会の

委員として、次の4名を全

員一致で推薦することに決

定しました。

金岡重子氏、たぶち静子氏、

寺本早苗氏、林 五郎氏

# 編集後記

◆広報広聴委員会は、6月

定例会で委員構成が変わり

ました。あらためて「開

かれた市議会」をテーマにわ

かりやすい誌面に努めてい

きます。新たな取り組みと

して意見交換会が実施され

ましたが、あわせて議会報

告会のあり方についても検

討をすすめていきます。

(となき)

◆広報広聴委員会が立上が

って4年目になります。が、

その間、議論を経て議会報

告会とインターネット中継

が始まり、市議会ホームペ

ージや「かけはし」もリニ

ュアールされました。今

後も引き続き、より良い広報

・広聴を目指し活動してい

ります。

(富川)

**FM宝塚 83.5MHz**

毎週2回(月・木)12時25分  
から5分間、市議会の話題をお  
知らせしています。  
各定例会終了後には、議員の  
一般質問(録音)を放送してい  
ます。放送予定は、市議会ホー  
ムページでご確認ください。

市議会報「かけはし」は、す  
べての世帯と事業所のポスト  
に宅配お届けしています。  
発行日を過ぎても届かない  
場合は、ご連絡ください。

ジャパンメッセージ  
サービス(株)  
フリーダイヤル  
0120-24-0324  
(9時~19時まで)

※次号は、平成26年12月1日発行予定です。

10月										9月										
27日	24日	23日	22日	21日	19日	8日	7日	3日	2日	1日	30日	29日	18日	17日	16日	12日	11日	10日	9日	5日
月	金	木	水	火	木	水	火	金	木	水	火	月	木	水	火	金	木	水	火	金
			決算特別委員会			本会議	本会議	本会議(一般質問予備日)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議